
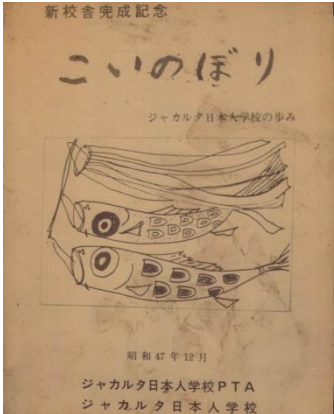


## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢
昭和47年 4月 (1972) 5月 7月 9月 10月 12月 3月	<p>入学式 始業式 在籍 118名</p> <p>砕氷艦 ふじ 見学</p> <p>八木名誉校長とのお別れ式</p> <p>小学部5・6年宿泊学習 プンチャック 2泊3日</p> <p>中学部宿泊学習 プンチャック 2泊3日</p> <p>第3回運動会</p> <p>校舎とのお別れ式</p> <p>新校舎への引っ越し</p> <p>新校舎使用開始</p> <p>スクールバスの試乗を1週間続ける</p> <p>10月 新校舎 竣工式 祝賀会</p> <p>10月26日に何ヶ月ぶりで降雨と記録されており、この年は新校舎に引っ越し早々停電、水枯れで苦労したようである。</p> <p>12月 校歌 校章 募集締切り 決定に至らず</p> <p>3月 第4回卒業式</p> <p>小学部(6名)</p> <p>中学部(1名)(中学部第2回)</p>	 <p>第1号棟建設中</p>  <p>新校舎完成記念誌</p> <p>※資料 (テベット校舎所有者 魚住竜吉氏寄稿文)</p> <p><u>次のページ</u></p> <p><u>インドネシア・マレーシア</u> <u>で反日運動高まる</u> <u>(12月)</u> <u>田中角栄首相インドネシ</u> <u>ア訪問</u> <u>(1月)</u></p>
昭和48年 4月 (1973) 5月 7月 1月15日 28日 30日 2月1日	<p>着任式 入学式 在籍 197名</p> <p>全校遠足 ボゴール(1年~4年)</p> <p>メラック(5・6年 中学部)</p> <p>歩こう会(全校)</p> <p>中学部宿泊学習 プンチャック 2泊3日</p> <p>6年生宿泊学習 プンチャック 2泊3日</p> <p>5年生宿泊学習 プンチャック 1泊2日</p> <p>1月15日 3学期始業式</p> <p>午後3時 副領事上野氏より反日デモによる臨時休校について電話。続いて寺田総領事より、とりあえず明日より3日休校せよとの指示。この日より休校。(1月27日まで)</p> <p>28日 授業再開(幼稚部を除く) スクールバス試行</p> <p>30日 PTA総会(臨時) スクールバスについて</p> <p>2月1日 幼稚部父母総会 スクールバス通園に決定</p>	<p>インドネシア・マレーシア で反日運動高まる (12月) 田中角栄首相インドネシ ア訪問 (1月)</p>

※資料（テベット校舎所有者 魚住竜吉氏寄稿文）



左より開校式における魚住竜吉氏



魚住竜吉氏表彰（開校式）

旧校舎とのお別れ式に臨んで

魚住 竜吉

新しい日本人学校が建って、いよいよ明日からそちらに引っ越されることになり、皆様はさぞお喜びのことと思います。これまで足かけ三年四か月、当時、誠に偶然ではありましたが、私の建物を利用して頂いたことは私としては光栄の至りであります。

ちょうど一九六九年の三月頃でしたか、日本大使館並びに各商社邦人皆様のご努力により、第二次世界大戦後、約三十年ぶりに、インドネシアの首都でありますこのジャカルタ市に、再び日本人学校が誕生することになり、適当な建物はないかと物色しておられたようでした。

偶然、私のこの建物を、日本人学校の校舎に使いたいという話が私のところになりましたときは、ちょうど、このジャパンクラブの建物もまだ完成していませんでしたし、校舎になっている建物は機織工場と倉庫でしたので、それをまず改造しなければならなかったのです。しかも開校式までの日程が一月もなく、すい分慌てたものでした。

裏の沼地との間が危ないというので、鉄柵をぐるりにつけたり、とにかく夜遅くまで突貫工事をやって、何とか間に合わせたようなことでした。

五月五日の子どもの日には、中庭で開校式をやって、

「やあ、見違えるような立派な学校ができたなあ。」


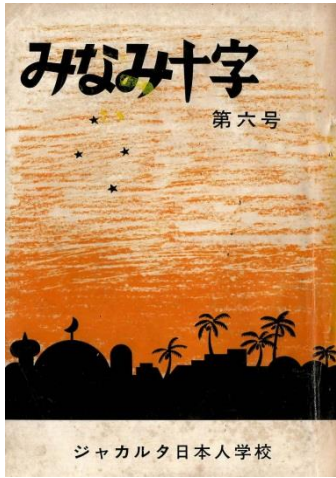
と、父兄の方に喜んで頂いたことも、昨日のように覚えています。あの当時は児童数わずかに十名でしたがそれが今日では二百名にもなるうとしていることを聞きまして、私ばかりでなく、恐らく誰も予想し得なかったことでありましょう。そのころ、このあたりはまだ治安も十分でなく、学校に警護をおいたり、登下校にも安全なようにと、気をつかったことでした。

しかし、こうしていよいよ、きょうを最後に学校が私の眼前から去ってしまうのかと思います。と、何とも心淋しい限りです。今にして思えば、もっと皆様のために、何かしてあげられなかったのかと、残念でなりません。



どうか皆様も、新しい校舎に移ってからますます勉強に励み、元気いっぱいやって頂きますよう、心からお祈りいたします。

新校舎完成記念「11月の母の日」へ



## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢
昭和49年 4月 (1974) 5月	<p>入学式 始業式 在籍 264名</p> <p>新校舎完成(第2号棟)</p> <p>開校5周年記念日(休業)</p> <p>全校遠足</p> <p>1・2年 スナヤン</p> <p>3・4年 ロバンブアヤ</p> <p>5年～中学部 リド湖</p>	 <p>パサーリング校舎</p>
7月	<p>5年生宿泊学習 プンチャック 1泊2日</p> <p>6年生宿泊学習 プンチャック 1泊2日</p> <p>中学部宿泊学習 プンチャック 2泊3日</p>	
11月	<p>校歌作成推進委員会</p> <p>6年生宿泊学習 バンドン 2泊3日</p>	 <p>ジャカルタ日本人学校 みなみ十字第6号</p>
2月	<p>学習発表会</p>	
3月	<p>幼稚部移転説明会</p> <p>第6回卒業式(小学部27名)                   中学部(5名 中学部第4回)</p> <p>この卒業式ではじめて校歌が歌われる。 (制定は3月10日の記録あり)</p> <p>校歌作詞者 中村 保(47年度派遣教員)の文によれば公募作品が印刷され、親インドネシア家で知られる歌のおばさんの松田敏江氏に送られ、作曲されて送られてきたのは2月13日であるという。なお、公募作品のうち印刷(ガリ版)されて現在残っているのは校歌の部8篇(うち3篇は47年応募分 他5篇は49年応募・・・亀田重彰 西 光 神谷敬子 中村保(2))である。伊藤修作詞の曲は、南はるかに五千キロも愛唱歌として採用、作曲されている。中村氏は前後3篇の候補作品を寄せている。</p> <p>なお、校章デザインも同時に公募されている。</p> <p>応募者 伊藤 修 田沼 翠 北村直彦           老月克久 大橋利康 浜野浩司           西 光 ©増田洋美 採用           岡田 中村 保の各氏となっている。</p> <p>なお、原画デザインは校名部分がJESになっている。</p>	

## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢
昭和50年 4月 (1975)  6月  7月  8月  9月  10月  12月  1月 2月  3月	幼稚部 パサーリング園舎へ移転 入学式 始業式 在籍 352名  全校遠足 タマン・ミニ 全校写生大会 タマン・ミニ  全校球技大会 1学期終業式 この学期に予定されていた宿泊学習(小5・6・中1) 修学旅行(小6・中2・3)は、9月に延期された。  巡回指導(メダン) 巡回指導(スラバヤ)  中学部修学旅行(2・3年) プラウプトリ 3泊4日 5年生宿泊学習 プンチャック 1泊2日 小学部修学旅行(6年) バンドン、ジャティルフル 2泊3日 中学部1年生宿泊学習 プンチャック 2泊3日  第6回運動会 10月5日実施予定であったが、レバラン前日である ことから HIBA 社より運転手の確保が困難との申し 入れがあり、2週間延期された。  校内球技大会 アンクロン演奏会  文部省学術国際局 ユネスコ国際部長来校  学習発表会 日時を変えて保護者向けにも実施  第7回卒業式(小学部27名) 中学部(5名 中学部第5回)  校舎改装、内装工事始まる	日本・インドネシアの情勢  <u>スハルト大統領訪日</u> <u>(6月)</u>   幼稚園舎   ラジオ体操

## ジャカルタ日本人学校の歩み




年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢	
昭和51年 4月 (1976)	職員室・事務室 旧幼稚部園舎に移転 始業式 始業式 在籍 443名	 <p>スクールバス</p>	
5月	インドネシア軍 学校周辺で演習のため臨時休校		
6月	全校遠足 アンチョール(1年～4年) ボゴール動物園(5年～中学部)		
7月	全校写生会 タマン・ミニ 中学部3年宿泊学習 プンチャック 1泊2日 中学部2年修学旅行 プラウプトリ 2泊3日 中学部1年宿泊学習 プンチャック 1泊2日		
9月	小学部5年宿泊学習 プンチャック 1泊2日 小学部6年修学旅行 バンドン 2泊3日		
10月	インドネシア政府 学校視察		
11月	中学部親善スポーツ大会(休日を利用して) 対ジャカルタ41中学校 バレーボール、バドミントン		
3月	第8回卒業式(小学部37名) 中学部(6名 中学部第6回)		
昭和52年 4月 (1977)	始業式 入学式 在籍 510名		 <p>学習発表会</p>
5月	国際児童祭参加(アンチョール) 希望者		
6月	3号棟建設工事開始 ジャカルタ市制 450年記念のため臨時休校		
8月	福田首相 来イ 児童生徒出迎え(ハリム空港) 起工式(第3期工事)		
10月	第8回運動会 校舎建設のため児童・生徒のみの運動会とする 国連デー参加(ユネスコ青年協会主催)		
11月	インドネシア国立41中学校との交歓球技大会 中学部生徒全員参加		
1月	奥野誠亮 元文部大臣来校(学校視察)		
3月	日伊親善図画作品展 第9回卒業式(小学部21名) 中学部(5名 中学部第7回) 第1回日伊合同キャンプ プンチャック 1泊2日		
		<p>福田赳夫首相インドネシア訪問 (8月)</p> <p>東京でASEANフォーラム開催 (11月)</p>	



# ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢
昭和55年 4月 (1980) 6月  7月  10月  11月  12月 1月 2月 3月	入学式 在籍 673名 父親参観日 親善スポーツ 中学部1年校内宿泊学習 1泊2日 小学部6年修学旅行 バンドン 2泊3日 日伊友好キャンプ サワンガンバル 1泊2日 意見発表会 「インドネシアと私たち」 小学部(講堂)、中学部(音楽室)にわかれて実施 第4号棟 地鎮祭 アル・アスハル校との交歓合同授業 (3日間にわたり) 中学部2年宿泊学習 チブプル 1泊2日 インドネシア文部省 次官 学校視察 中学部3年親子宿泊訓練(校内) 1泊2日 日伊絵画展(出品100点) 学習発表会(2日間) 世情不安下厳戒態勢で 児童生徒通学風景取材(NHK) 鈴木首相来伊 出迎え(ハリム空港) 水泳競技大会 第12回卒業式(小学部64名) 中学部(18名 中学部第10回)	 <p>地鎮祭</p>  <p>小学部6年 修学旅行</p> <p>鈴木善幸首相インドネシア訪問 (1月)</p>
昭和56年 4月 (1981) 5月 7月  8月 9月 11月 12月 1月 3月	入学式 在籍 749名 中学部3年 修学旅行 ソロ方面 2泊3日 全校たなばた集会 第4号棟 校舎落成記念式 記念講演「歴史を歩く」インドネシア大学田中彰氏 日伊友好少年使節団 日本より来校 日伊友好たこあげ大会 小学部学習発表会、中学部文化祭 ホリデイソングフェスティバル 小学部5年参加 諸澤文部事務次官来校 学校視察 第13回卒業式(小学部69名) 中学部(14名 中学部第11回)	 <p>全校たなばた集会</p> <p>スハルト大統領訪日 (1月)</p>

## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢	
昭和57年 4月 (1982) 5月	入学式 在籍 816名 小学部校外学習 1年ラグナン動物園 2年アンチョール遊園地 3年ボゴール植物園 4年ボゴール植物園 5年タマン・ミニ	 <p>水泳記録会</p>	
6月	中学部3年修学旅行 ジョグジャ・ソロ 2泊3日 中学部2年宿泊訓練 チプルボーイスカウトセンター 1泊2日 小学部6年修学旅行 バンドン 2泊3日 中学部1年校内宿泊学習 1泊2日		
9月	日伊友好キャンプ(中学部) サワンガンバル 1泊2日		
10月	国連デー ブルガンユースセンター(小学部6年参加) ※干ばつのため水不足に悩まされる。グランドの芝がほとんど枯れる。		
12月	ホリデーソングフェスティバル(小学部4年参加)		
2月	桜内外相より優勝旗をいただく(大使館で受け渡し式)		
3月	第14回卒業式(小学部76名) 中学部(20名 中学部第12回)		 <p>小学部学習発表会</p>
昭和58年 4月 (1983)	入学式 在籍 891名 中曽根首相 来イ 出迎え		<p>中曽根康弘首相インドネシア訪問 (4月)</p>  <p>中学部修学旅行</p>
5月	日蝕についての講演会 東京大学 日江井教授 ※皆既日蝕 6月11日 午前10時11分～午前11時33分		
8月	ユネスコ(青森県) 中・高校生26名来校		
9月	日伊友好キャンプ(中学部) サワンガンバル 1泊2日		
10月	青年の船(日本丸) 小学部4年～6年 小学部4年社会見学 スナヤン 小学部5年社会見学 トヨタアストラ		
12月	全国中学校地理教育研究会 23名来校		
3月	第15回卒業式(小学部90名) 中学部(21名 中学部第13回) 全日本サッカーチーム来校		





## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢
昭和59年 4月 (1984)	入学式 在籍 926名 バンドン日本人学校 開校記念式典 (校長参列)	
5月	中学部2年・3年修学旅行 ソロ・ジョグジャ 2泊3日 中学部1年宿泊学習 チンプル 1泊2日 小学部6年修学旅行 バンドン 2泊3日 全校写生会 校内で学年別・テーマ別に分かれる	
7月	日伊友好キャンプ サワンガンバル 中学部全員参加	
8月	屋根 (1号棟張り替え修理) 開始	
9月	第2回国際写生大会に初参加	
10月	国連デー参加 (6年生) プルガンユースセンター ※29日夜9時15分、学校隣接、海兵隊駐屯地の火薬庫爆発のために3号棟、4号棟、体育館のガラス、窓枠ほとんど破壊される 10月30、31、11月1日と臨時休校、校舎内復旧作業にあたる 11月1日は午前、午後にわたりPTA役員、有志400名余名の奉仕作業	
		全校写生会
11月	授業再開 (2日) 3日、4日に予定されていた文化祭、学習発表会はそれぞれ延期	
12月	小学部1・2年 学習発表会 (8日 校舎修復完了) 中学部 文化祭 (15日) 小学部3年 学習発表会 (20日)	
1月	小学部4・5・6年 学習発表会 (19日)	国連デー参加 (6年生)
3月	永六輔、中村八大氏の歌とおはなしのつどい 第16回卒業式 (小学部92名) 中学部 (41名 中学部第14回)	
	※この年度の特記事項 9月以降、過激イスラムと目される人によるタンジョンプクオク暴動以来、12月までは治安の面での憂慮される事件が頻発した。サリナジャヤ、サリナデパートの放火、コタ地区銀行の時限爆弾。日系企業ビル、華僑系資本等に対するいやがらせや電話等。その頂点	

	<p>のひとつにチランダック駐屯地の火薬庫爆発。→日本人学校被爆があった。原因不明とあったが、一時は軍内部対立による内乱説もあって邦人の心配はひとかたならぬものがあった。幸い、損害部分のほとんどは損保によってカバー（約7600万ルピア）されることとなった。</p> <p>また、ガラス代については全額 P.T. アサヒマスの寄贈によることができた。約1000万ルピア。</p> <p>（年度終了後感謝状贈呈）</p> <p>昭和60年 4月 入学式 在籍 929名  (1985) 6月 1日より6日まで中間休業日</p> <p>中学部2年修学旅行 ソロ・ジョグジャ 2泊3日  中学部3年野外学習 スカブミ郊外（地質、化石など）  レバラン休業日（19日～23日）</p> <p>7月 第8回日伊友好キャンプ  サワンガンバル（アルハール校）中学部全員参加</p> <p>8月 フィールドアスレチック工事開始</p> <p>9月 第16回体育祭  アルアズール国立41中、ストラダ校を招待して  リレー実施 アジア陸上選手リレーに賛助出演</p> <p>10月 国立教育研究所長 鈴木勲氏来校 学校視察</p> <p>11月 第9回アジア大洋州地域校長研修会  ジャカルタ会場 参加25校  世界子ども芸術作品展覧会出品</p> <p>12月 永六輔、石田純子氏による歌とおはなしのつどい(全校)</p> <p>1月 全日本女子サッカーチーム来校  日本人学校児童生徒と交流</p> <p>※この年度の特記事項</p> <p>年度中途より、市および工業省の企画による道路拡張計画がにわかに具体化、測量等も始まり、対策に追われた。</p> <p>・道路幅縮小の交渉（大使館ルートで）駐車場用地がほとんどなくなってしまうために代替用地を南隣地に購入すること等、維持会実行委員の活躍はめざましいものがあった。来年度はおそらく道路工事着工、購入用地の整備が必至と思われる。</p>	 <p>第8回日伊友好キャンプ</p>  <p>朝の集会</p>
--	---	--

## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢	
昭和61年 4月 (1986) 5月	入学式 在籍 907名 児童会総会(本年度より小・中分離) 音楽朝会(本年度より新しい試みとして月2回実施) 中学部生徒会総会	元日本留学生在ジャカルタでダルマ・プルサ大学を設立 (7月)	
7月	第9回日伊友好キャンプ サワンガンバル 本年度より人数の都合で中学部2・3年のみ参加		
8月	アル・アズハール校へ1日体験入学 中学部希望者31名		
9月	アル・アズハール校より1日体験入学(21名) 職員研修 ボゴール宮殿見学		
10月	インドネシア教員代表学校視察(26名)		
11月	中学部文化祭 講演「宇宙飛行士プラウティ氏」 小学部学習発表会 中学部文化祭 展示部門		学習発表会
3月	第17回卒業式(小学部108名) 中学部(56名 中学部第16回)		文化祭
<p>※この年度の特記事項</p> <p>校地増減問題は大使館のお力添えにより、校舎取り壊し等の大きな問題はまぬがれたものの、なお電気室の移動問題等、流動的である。</p> <p>駐車場用地確保のために隣接地買収は順調に進み、仕切りへ移行時も完成にいたった。</p>			
昭和62年 4月 (1987) 7月	入学式 在籍 871名 第1回校内剣道大会	<p>塩川正十郎文部大臣来校 (9月)</p>	
9月	日伊友好親善キャンプ 共催ジャパンクラブ サワンガンバル 1泊2日 塩川文部大臣一行 来校視察		
10月	幼稚部校舎起工式 幼稚部運動会 小・中学部校庭		
3月	第19回卒業式(小学部94名) 中学部(55名 中学部第17回) クーラー車導入のため、バス会社をPT.HIBAからPT. BIG BIRDに変更した		

## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢	
昭和63年 4月 (1988)	入学式 在籍 923名 永六輔、中村八大氏来校	 <p>全校写生会</p>	
5月	宇野外務大臣銀杯を岸田理事長へ伝授		
6月	幼稚部落成式 岸田理事長、辻田実行委員長主催 テベット幼稚部園舎家主魚住夫人感謝表明 小学部6年修学旅行 バンドン 2泊3日 中学部文化祭		
7月	全校写生会		
10月	第19回運動会 ※天皇陛下のご容体に鑑みて体育祭の祭をとり、運動会とする 21世紀友情計画青年招聘事業参加 インドネシア教師23名来校 教育文化省 国立言語研究所研修生 高校日本語教師20名来校 国連デー 国際文化の夕べ 小学部5年参加		
11月	小学部学習発表会		
1月	天皇陛下崩御 臨時全校集会		天皇陛下崩御
3月	技術室を普通教室に改造		
平成元年 4月 (1989)	入学式 在籍 944名		
5月	竹下登総理大臣より和太鼓の寄贈を受ける		竹下登首相インドネシア
6月	創立20周年記念式典 体育館(20日) 来賓 大使(代理 伊集院公使) PTA会長 参加者 小学部4・5・6年(345名) 中学部1・2・3年(244名) 創立20周年記念中学部文化祭(25日)		訪問 (6月)
9月	体育祭の歌「南十字に誓う」制定 作詞 平成元年度中学部生徒20名合作 作曲 教諭 田中則行(平成元年度派遣 東京都)		 <p>20周年記念誌</p>
10月	第12回日伊親善友好キャンプ 中学部全学年希望制		 <p>20周年記念式典</p>
10月	第20回創立20周年記念体育祭		
11月	小学部学習発表会		
1月	中学部駅伝大会(1~4校時)		
2月	児童会行事 JJSまつり		

# ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢
平成2年 5月 (1990)	<p>児童生徒数(1日)</p> <p>小学部 男子378名 女子346名 計724名</p> <p>中学部 男子152名 女子112名 計264名</p> <p>児童生徒数 988名</p> <p>幼稚部 男子 63名 女子 62名 計135名</p>	 <p>入学式</p>
5月	海部首相来イ	海部俊樹首相インドネシア訪問 (5月)
3月	夫人からステレオ、テレビ、フロッピー、カメラ寄贈 永六輔氏、亀山法男、勝子夫妻来校 講演・演奏会 第5号棟増築校舎工事着工 (普通教室4 理科室1 音楽室1)	
平成3年 5月 (1991)	<p>児童生徒数(1日)</p> <p>小学部 男子363名 女子356名 計719名</p> <p>中学部 男子151名 女子107名 計258名</p> <p>幼稚部 男子 89名 女子 77名 計166名</p> <p>児童生徒数 1004名</p> <p>学校沿革史上初の1,000名台となる</p>	 <p>日伊友好キャンプ</p>
8月	第5号棟落成式 第2学期始業式に引き続き行う	天皇・皇后両陛下インドネシア訪問 (10月)
10月	天皇・皇后両陛下来イ ハリム空港へ小学部6年生がお出迎え	
11月	中学部修学旅行 本年度より旅行先はバリ島となる	
3月	2号棟 屋根全面ふき替え 校舎、体育館壁全面張り替え	
平成4年 5月 (1992)	<p>児童生徒数</p> <p>小学部 男子401名 女子367名 計768名</p> <p>中学部 男子146名 女子120名 計266名</p> <p>幼稚部 男子 88名 女子 79名 計166名</p>	 <p>体育祭</p>
6月	エアコンを全教室(今回分18教室)に設置完了	宮澤喜一首相インドネシア訪問 (1月)
8月	生活科用鶏小屋設置(中庭)	
10月	中学部修学旅行(バリ島) 本年より3泊とする	
1月	宮澤喜一総理大臣より和太鼓の寄贈を受ける	

## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢
平成5年 (1993)	<p>4月 入学式 在籍 1053名</p> <p>5月 中学部1年生 宿泊学習 プンチャック 1泊2日</p> <p>6月 小学部1～5年 1日遠足 小学部6年生 修学旅行 バンドン 2泊3日 中学部 文化祭(2日間)</p> <p>7月 全校写生会 中学部 水泳記録会(学年別)</p> <p>8月 1日体験入学(アルアズハール小・中学)</p> <p>9月 第16回日伊友好親善キャンプ サワンガンバル 160名参加 1泊2日 第24回体育祭</p> <p>10月 アルアズハール校児童36名本校へ1日体験入学 中学部2年 修学旅行 バリ 3泊4日</p> <p>11月 小学部学習発表会</p> <p>12月 小学部水泳記録会(学年別に) 永六輔氏講演会</p> <p>2月 中学部 駅伝大会</p>	<p>日本・インドネシアの情勢</p>  <p>修学旅行</p> <p><u>スハルト大統領訪日(東京サミット)</u> (7月)</p>  <p>文化祭</p>
平成6年 (1994)	<p>4月 入学式 在籍 1035名</p> <p>6月 小学部5年 宿泊学習 プンチャック 1泊2日 小学部6年生 修学旅行 バンドン 2泊3日 中学部 文化祭(2日間)</p> <p>9月 第17回日伊友好親善キャンプ 中学部 マゴンダ・ラヤ 1泊2日 第25回体育祭</p> <p>10月 中学部2年 修学旅行 バリ 3泊4日</p> <p>11月 小学部学習発表会 村山富市総理大臣より和太鼓の寄贈を受ける</p> <p>12月 新校舎建築地鎮祭(ピントロ・ジャヤ地区) ※この年度の特記事項 前年度1年間歳月をかけ、授業時数の確保をはじめ、教育課程の抜本的な見直しを実施した。その結果、平成6年4月より学校週五日制(月1回)の実施が学校維持会理事会で承認され、スタートした。</p>	 <p>体育祭</p>

## ジャカルタ日本人学校の歩み

年代	ジャカルタ日本人学校	日本・インドネシアの情勢
平成7年 (1995)	<p>4月 始業式 入学式 在籍 1098名</p> <p>6月 中学部文化祭</p> <p>7月 全校写生会 小学部水泳記録会 小中学部球技大会</p> <p>9月 日曜参観 アルアズハール校児童1日体験入学 中学部2年 修学旅行 バリ 3泊4日 第18回日伊友好親善キャンプ</p> <p>10月 第26回体育祭</p> <p>11月 小学部学習発表会 アジア大洋州地区日本人学校校長研究協議会 (ジャカルタ 4日間)</p> <p>12月 アルアズハール校児童と交流学習 中学部球技大会</p> <p>3月 校舎とのお別れ会</p>	<p>インドネシア大学に「日本 研究センター」設立 (4月)</p>  <p>校舎建設</p>  <p>交流学習</p>
平成8年 (1996)	<p>4月 入学式 在籍 1111名 竣工式</p> <p>5月 海上自衛隊吹奏楽団来校・演奏</p> <p>7月 部活動開始小学部 部活動開始中学部</p> <p>9月 第19回日伊友好親善キャンプ 中学部2・3年全員</p> <p>10月 文部省教育助成局海外子女教育課 赤堀海外子女教育専門官視察 中学部新校舎完成記念文化祭(2日間)</p> <p>11月 小学部学習発表会 新校舎落成祝賀会(16日) 立命館宇治海外入試(シンガポール)</p> <p>12月 渋谷幕張シンガポール入試(本校) 中学部3年生を送る会</p> <p>2月 レバラン休業日(7日~12日)</p> <p>3月 小学部6年生を送る会</p>	 <p>新校舎落成祝賀会</p>